



災害に備える

7月1日（金）、南砺消防署東分署の署員の方をお招きし、今年度2回目の避難訓練を行いました。1回目も火災対応の避難訓練でしたが、今回は休憩時間中の火災を想定していました。休憩時間なので、近くに必ず教員がいるとは限りません。ここが授業時の火災とは違う難しいところ。全体での避難訓練の後、5年生は



煙中体験、6年生は消火体験を行いました。終わってから職員室で、教頭と一緒に、署員の方のお話を聞きました。「子供たちは、非常ベルが鳴ったら立ち止まり放送をしっかりと聞いていた」「上級生が中心になって下級生の子供に指示を出していた」と良かった点をほめていただきました。改善点としては「そんなに急いで避難しなくてもよい」ということでした。避難の合言葉に「**お**；押さない、**は**；走らない、**し**；しゃべらない、**も**；戻らない、**て**；低学年を優先する」がありますが、「走らない・しゃべらない」の意図は「慌ててけがをしない・話をしていると指示が聞こえない」ためだけではなく、「火事で恐ろしいのは煙を吸うこと。呼吸を最小限にするために、走らない・しゃべらないのだ」と教えていただきました。なるほどなと思いました。火事等の災害は無いに越したことはありませんが、万が一起きた時に最善の行動ができるように備えたいものです。最近、暑い日が続く、空気も乾燥しています。火事には気を付けましょう。

災害といえば・・・、少し前の話になりますが、6月20日（月）がどんな日だったか覚えていらっしゃるでしょうか。学校では、学校訪問研修会といって教育事務所や南砺市教育委員会、学校評議員の方に学校の様子を見ていただき、学校運営に対して意見を言っていた日でした。この日は、朝から野尻地内でクマが出没したかと思えば、午前10時30分頃には携帯電話のエリアメールが鳴り響き、石川県能登地方で震度5強の地震が起こるなど、日頃あまりないような自然災害が続けて起こった日でした。

私が野尻地内でクマが出没したのを知ったのは、出没してから15分後の午前6時45分。自宅にて、登録してある『なんと！緊急メールサービス』からの情報提供で知りました。既に、子供たちが登校し始めている時刻です。学校からの安全メールを出そうにも、学校に行かないと安全メールが出せません。結局、学校からの安全メールを発信できたのは午前7時30分頃だったと思います。幸いにも、子供たちは安全に登校できたのでよかったです。いつ起こるか分からない災害には、日頃から備えていなければいけません。そこで、保護者の皆様に提案です。



クマの出没・不審者・気象等、緊急情報があったときは、学校からも安全メール

でお知らせしますが、この安全メールは、管理職が学校にいる時間でないと発信できません。そして、私たち教員も県や市から出る緊急情報を受け取ってからでないと安全メールを発信できません。保護者の皆様には、南砺市が運用している『なんと！緊急メールサービス』に登録していただくことをお勧めします。クマの出没情報だけでなく、事故・火災・地震・気象警報・山くずれ・河川の氾濫等、緊急避難や対策を要する情報を直接受け取ることができます。最近では、『南砺市防災アプリ』のサービスもあります。

『南砺市防災アプリ』 南砺市防災アプリのホームページから簡単に登録できます。

『なんと！緊急メールサービス』 emergency.nanto-city@raiden.ktaiwork.jp

夜間や早朝、休日等の緊急事態には、学校からの指示を待たずに、保護者の判断で、対応していただくことも必要かと思えます。

暑い日が続いています

例年にない早い時期に梅雨が明けたと思うと、今度は最高気温が35度ほどになる日が続いています。学校では、各教室のエアコンをフル稼働させて対応してはいるものの、毎日のように「電力の使い過ぎ」を知らせる警報が鳴り響き、校務助手や教頭が中心になって、体育館の水銀灯を消したり、一部屋に複数あるエアコンの設定温度を一時的に上げたりしてしのいでいます。また、熱中症指数をこまめに測定し、危険域になる昼休みの時間は外で遊ばないことにしたり、休み時間が終わるころに教務主任が水分補給をするように放送で呼びかけたりしています。外で元気に遊びたい子にとっては、ストレスになっていると思われそうですが我慢してほしいと思います。

そんな中、登下校時の服装を6月末から運動服着用でも可としました。水筒に十分な水分を入れてくる、首巻冷却タオルを着ける、日傘をさすなど、お子さんの実態、登校に要する時間等を考慮して対応をお願いします。不思議なのがマスクです。学校では、登下校時（スクールバスを除く）はマスクを外してよいと言っているのですが、なかなか外そうとしない子供も多く見受けられます。私は、外にいるときは積極的にマスクを外している姿を見せるようにしています。習慣になっていて気にならないという子もいますし、恥ずかしいから？と言う子もいます。「10年早い！」と言いたくなりますが、コロナ感染を心配している子もいますので、無理に外せとは言いません。お子さんと熱中症対策について話し合ってみてください。



○熱中症の心配とは裏腹に、こんなことも思っています。

暑い中でも、元気に外で遊んでいる子供やスポ少で活動している子供を見ていると、うれしい気持ちになります。熱中症の心配をすることも大事ですが、熱中症にならない体づくりをすることも大事です。よく食べ、よく寝る。エアコンに当たってばかりいないで、適度な運動をし、汗をかいて体温調節ができる体をつくる。私は、暑さ寒さはあまり苦になりません。家に帰ってからの4～5kmのウォーキングはほとんど毎日行っています。（走ればよいのですが、次の日が心配なので走りません。）ストレスの解消になりますし、歩いている途中でよいアイデアが浮かぶこともあります。夏休みも近くなってきました。健康な体づくりについても考えてみてください。

（校長 曲師政隆）